

水稻「にじのきらめき」の奨励品種採用について

米の安定生産及び生産者の所得向上を図るため、農林水産総合技術支援センターが行った選定試験の結果が優良なものから、JA全農とくしま等の関係団体との協議のうえ、県内生産に適した優良な品種として、水稻「にじのきらめき」を新たに奨励品種に採用した。

1. 「にじのきらめき」の特徴等

- ・夏場の高温による白未熟粒の発生が少なく、品質は良好。
- ・収量が多く、短稈で耐倒伏性が高いことから安定生産が可能。
- ・食味は良好。大粒で粒感（噛み応え）があり、炊飯後の見た目も美しい。
- ・全国的に生産が急増している。令和7年産は農産物検査数量ベースで6位。



2. 栽培面積の拡大に向けた取組

- ・令和10年に栽培面積1,000haを目指し、普及を推進
(現状：令和7年 20ha)
- ・種子の安定供給に向け、令和8年度から県内（美馬市）で種子生産を開始
- ・生産性向上技術の実証と普及（品種特性を最大限発揮させる専用肥料の開発）
- ・消費者へのPR活動の実施（認知度向上と需要拡大に向けたイベント開催）